

特定非営利活動法人  
まちなか研究所わくわく

2011年度事業計画書

# 当会の使命と基本理念

---

【使 命】 2004年設立(2005年2月法人認証)

すべての人々が、自ら暮らすまちを  
想い、考え、納得してつくっていけるような市民社会の実現

【合言葉】

みんなで「決めて」みんなが「つくる」そんな社会づくりのために、  
まちわくは人と組織を「つなぎ」「話し合う」場と社会環境をつ  
ります。

【基本理念】

- みんなで決めてみんながつくるまちづくりの活動と活動サポート
- 市民公益活動を行う団体の活動サポートと市民社会のインフラ整備
- 参加型の場づくりの企画運営と人材育成
- 地域のNPOモデルとなるような継続的な市民活動の組織運営



# まちなか研究所わくわくは、

- 皆さんと一緒に、沖縄での市民主体のまちづくりを実現したい。

まちの居場所づくり  
～集い・語り合い・  
動き出す～

NPOへの市民参加  
～社会問題への  
アクション～

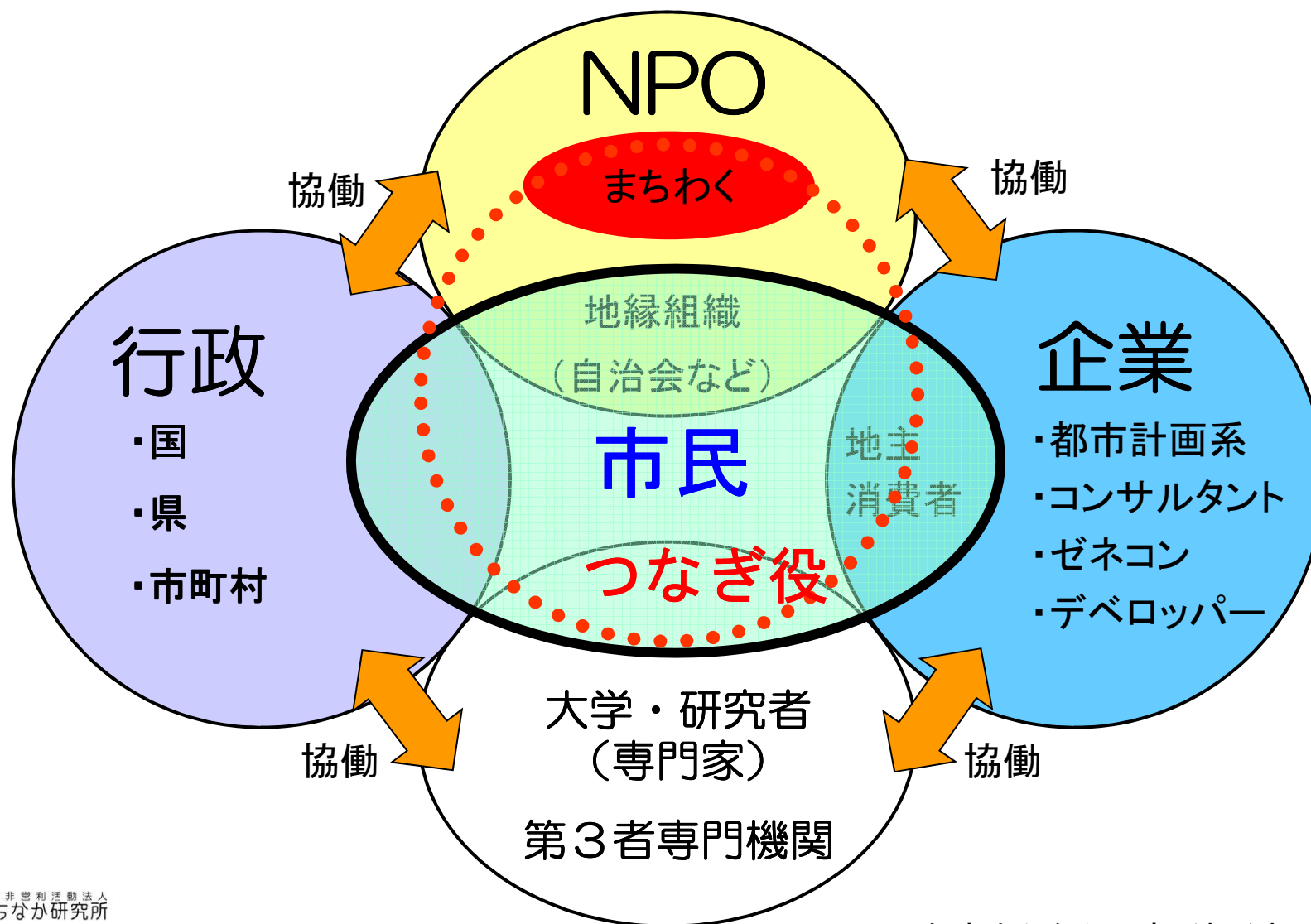
地域での  
参加の機会  
づくり

ファシリテーター  
人材の育成  
～参加のデザイン～

那覇でのモデルを  
県域へ展開し、  
沖縄を元気にしていきます。



# 当会の活動領域

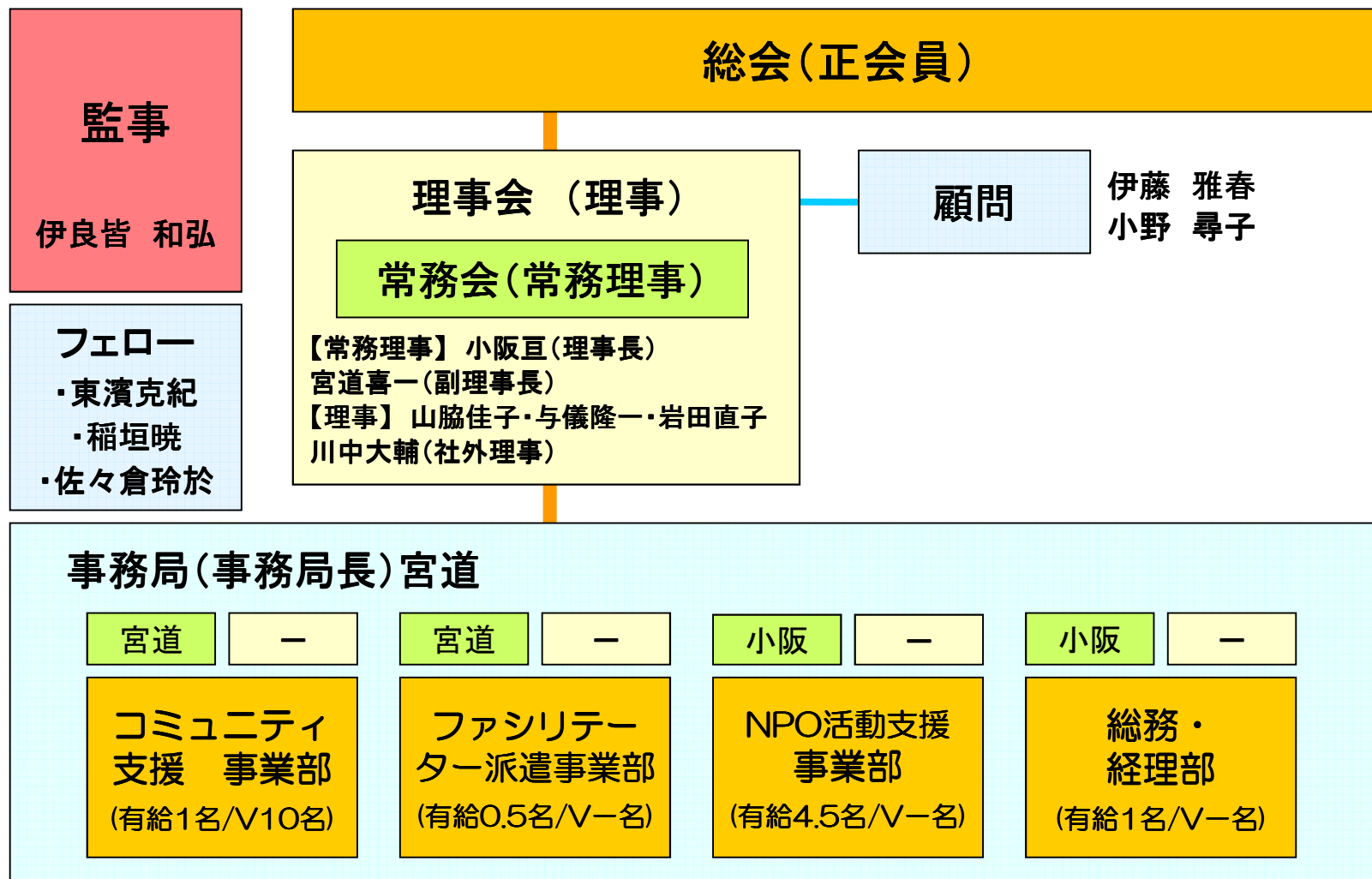


# 2011年度 方針

- 設立8年目。活動10周年に向けて、これまでをふりかえり、次の10年間で取り組む社会課題と活動モデルをつくります。
- マチグワーエリアでの「子どもの職場体験」を軸とした参加の機会づくりプログラム化し、資金循環まで含めた仕組みづくりを行います。
- また、地域の課題を顕在化させる市民力の強化と地域のまちづくり活動に生かす仕組みづくりをマチグワーエリアにおいて、取り組みます。
- 市民が社会に参加するしくみとしてのNPO活動支援を、那覇市域から沖縄県域へ広げます。特にボランティアマネジメントや寄付・会費などの非営利のファンドレイズのノウハウを深めます。



# 2011年度 体制と事業計画



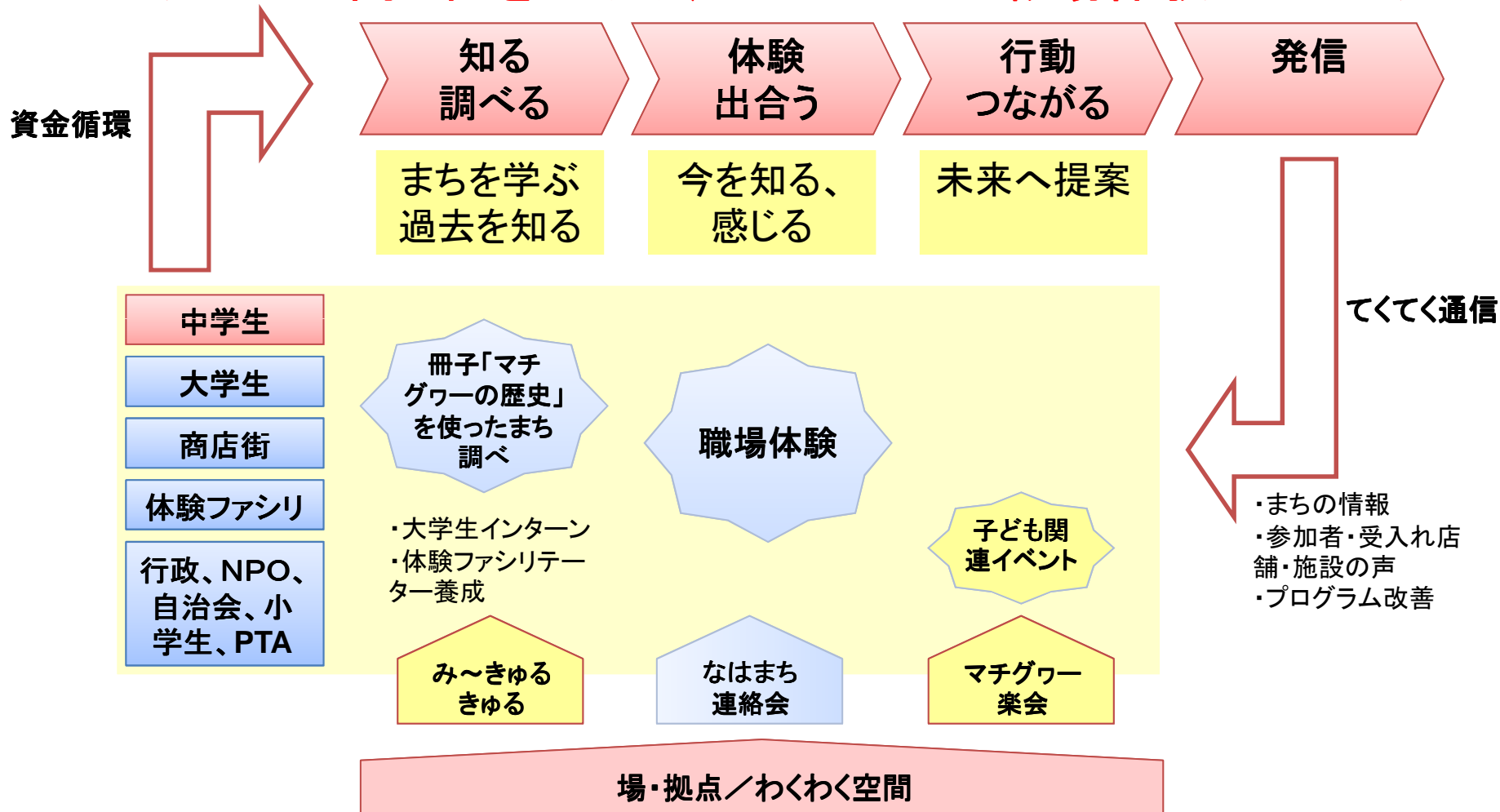
# みんな決めてみんながつくる まちづくりの活動と活動サポート — コミュニティ支援事業部 —

## ●2011年度目標

- ①子どもの職場体験を軸としたマチグラーでの参加の機会づくり
- ②NPOとマチグラーをつなぐ
- ③ハードに関わる参加の場づくり
- ④中長期(10年)を見据えた事業づくり

## ② 2011年度事業計画

### マチグワ-の商と住をつなぐ、子どもたちの職場体験プロジェクト



# ③ 今期取り組み

## ①向き合うマチグワの課題の選択

多様にあるマチグワの課題に対して、当会として、どこにコミットしていくのかを見極めることが必要。そのためのリサーチが必要。

## ②情報発信の3本の軸を育てる

情報発信に関して、「み～きゆるきゆる」「マチグワ楽会」「てくてく通信」という3本の軸を育てていく。

## ③職場体験を軸とした自主事業開発

子どもたちの職場体験を軸としたプログラム開発と寄付も含めた収益モデルの構築。

## ④マチグワに見える変化の波

- ・にぎわい広場条例の改定
- ・にぎわい広場の指定管理導入
- ・第一牧志公設市場の改修・建替え検討委員会
- ・中心市街地活性化基本計画に代わるマチグワ将来ビジョンの策定
- ・公設市場衣料部2階の活用
- ・那覇市中心商店街連合会の事務局強化

月	年間スケジュール
4月	
5月	マチグワ支援基金 募集締め切り&プレゼン
6月	
7月	
8月	職場体験ファシリテーター養成講座
9月	職場体験受入れ
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	第4回マチグワ楽会
3月	

## ④ 資源（人・資金など）

### ●人事マネジメント

- ・有給職員(6月～3月:1.5人)
- ・インターンシップ(-)

地域組織や他NPOとの連携・協働を積極的に進めていく。

### ●資金マネジメント

那覇市のマチグワー支援基金や他助成金の活用を行う。

子どもたちの職場体験をプログラム化し、寄付も含めた収益をあげていく。

### ●資金内訳

マチグワー基金(楽会、職場体験、てくてく通信)

地域情報誌「み～きゆるきゆる」販売

ちゅらフォトアーカイブワークショップ

	収入	支出	差額
マチグワー基金(楽会、職場体験、てくてく通信)	2,000,000	2,000,000	0
地域情報誌「み～きゆるきゆる」販売	300,000	30,000	270,000
ちゅらフォトアーカイブワークショップ	800,000	700,000	100,000
合計	3,100,000	2,730,000	370,000

# 参加型の場づくりの 企画運営と人材育成 ー ファシリテーター

## 派遣事業部 ー

### ●2011年度目標

- ①対応できるテーマなど具体的なメニューとして発信していく
- ②主催ワークショップや参加の機会をつくる
- ③NPO・地域組織からの依頼を増やしていく

## ② 2011年度実施事業

### ファシリテーションスキルを持った人材の育成

- 1) まちわく現スタッフのスキル・経験値アップ
- 2) ファシリ派遣事業でのインターン受け入れ
- 3) 主催講座による外部ファシリテーター養成

### 研修・講座事業(主催・依頼)

行政／NPO／社会福祉協議会／自治会／企業

### ファシリテーター派遣事業

行政／NPO／社会福祉協議会／自治会／企業

### まちづくりワークショップ

コミュニティ支援事業部とのかかわりの中で展開

### 委員派遣

- 1) 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター運営委員(依頼: 沖縄県社会福祉協議会)
- 2) 那覇市社会福祉協議会評議員(依頼: 那覇市社会福祉協議会)
- 3) 災害救援ボランティア推進会議委員(依頼: 那覇市社会福祉協議会)

行政／NPO／社会福祉協議会／自治会／企業

## ③ 今期取り組み

### ①ファシリテーションスキルを持った人材の育成

まちわくの骨格といえるファシリテーションのスキル・ノウハウ・経験を積み重ね、沖縄の社会に発信していくためには、そこを担う人を増やしていかなければならない。そのためには、以下について検討する必要がある。

- 1) まちわく現スタッフのスキル・経験値アップ
- 2) ファシリ派遣事業でのインターン受け入れ
- 3) 主催講座による外部ファシリテーター養成

### ②収益面での戦略が課題

様々な分野から依頼を受けるようになってはいるが、収益性の観点からはまだ難しい。今後、依頼数を増やしていくのか、仕事単価を上げていくのか、収益面での戦略をもった事業展開が必要である。

### ③主催の取り組み

当会として、取り組みたいテーマを組み込んだ参加の場やファシリテーター派遣のメッセージを発信していく必要がある。

### 1プログラムの基本価格の提示

NPO・地域組織価格には応相談

### 実績の発信

どんなテーマに対応できるのか

## ④ 資源（人・資金など）

### ●人事マネジメント

- ・有給職員(0.1人×3人)
- ・インターンシップ(2人)

常務理事2名体制からまちわくスタッフも本事業の担い手として関わる機会をつくっていく。

また、まちわく組織内でのスキルアップの機会を組み込み、組織全体のファシリテーションスキルの底上げを行う。

### ●資金マネジメント

依頼による収入だけでなく、主催講座による参加費収入も確保していく。

### ●資金内訳

講座・講師・委員派遣

	収入	支出	差額
	500,000	360,000	140,000

---

合計	500,000	360,000	140,000
----	---------	---------	---------

# 市民公益活動を行う団体の 「活動サポート」と 「市民社会のインフラ整備」 — NPO活動支援事業部 —

## ●2011年度目標

- ① 県域でのNPO活動支援の基盤をつくる
- ② 那覇市NPO活動支援センターで培ったノウハウを地域展開させる
- ③ 分野を超えたNPOネットワークをつくる

## ② 2011年度事業計画

### マチグラーでのNPO活動拠点づくり

わくわく空間(仮称)の運営を通じて、地域活動に取り組む個人の活動拠点を開設。  
マチグラーのコミュニティとNPOをつなぐ拠点づくりを目指す。

### 分野を超えたNPOネットワークと、 育ち合える仕組みづくり

春・秋の年2回、Joint研修を開催する。昨年度参加した団体と月1回の定例情報交換会を継続し、講座を組み立てていく。  
NPOのリーダーやスタッフがお互いに学び合い、育ち合える連続講座として、おきなわNPOカレッジ2011を開催する。マチグラーをメインフィールドとして開催する。

### 県域でのNPO活動支援の基盤づくり

糸満市市民活動支援センター運営  
新しい公共支援事業＞NPO活動基盤整備、  
ネットワーク構築、中間支援人材育成

## ③ 今期取り組み

### ① マチグワーに拠点を移す

ぶんかテンプス館から壺屋に拠点を移し、引き続き、NPO活動支援事業を継続する。

### ② わくわく空間の開設

事務所にて、活動する人や組織が交流し、相談でき、作業もできるわくわく空間を展開する。月額の利用料を設定する。

### ③ 県域の分野を越えたNPOネットワークの構築

東日本大震災などの動きや国の新しい公共の動きに合わせ、分野を越えた県域のNPOネットワークづくりに取り組む。

## スケジュール

月	年間スケジュール
4月	事業報告(なはセン)
5月	わくわく空間募集開始 糸満市市民活動センター募集・申請 新しい公共支援事業説明会
6月	
7月	
8月	
9月	Joint研修
10月	おきなわNPOカレッジ2011
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	Joint研修

## ④ 資源（人・資金など）

### ●人事マネジメント

- ・有給職員（7人）
- ・インターンシップ（前期2人＋後期2人）

糸満市緊急雇用2名、新しい公共支援事業4.5名、  
わくわく空間・バックオフィスサポート0.5名

### ●資金マネジメント

行政委託だけでなく、自主財源メニューからの収益も上げていく。

### ●資金内訳

	収入	支出	差額
糸満市市民活動センター（緊急雇用）	6,000,000	5,400,000	600,000
新しい公共支援事業	12,000,000	10,800,000	1,200,000
わくわく空間・バックオフィスサポート	1,000,000	900,000	100,000
合計	19,000,000	17,100,000	1,900,000



# 地域のNPOモデルとなるような 継続的な 市民活動の組織運営

## — 総務部 —

### ●2011年度目標

- ・定期的な収支確認のしくみづくり
- ・自立した総務体制づくり

## ② 今年度の取り組み

### 現金の管理

現金管理のために、金庫の鍵の管理と入出金の手続きの体制を整備する。

### 収支の管理

管理費の確保や次年度への資金留保など、定期的な収支の管理体制を整備する。

### 自立した総務体制

総務部でも収益を得られるサービスとして、バックサポートオフィスを展開。NPO等の会計など事務局サポートを行い、10団体のサポートを目標とする。

月	年間スケジュール
4月	税理士監査／監査 理事会(29日)
5月	総会(20日) 登記変更／税務申告
6月	報告書提出(所轄庁)、収支確認
7月	
8月	健康診断
9月	収支確認
10月	上半期会計確認
11月	
12月	年末調整、収支確認
1月	支払調書発行
2月	収支確認
3月	